

学科名	学年	教科	科目	単位数	教科書	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
海洋科	1	水産	課題研究	1	なし						
科目の目標	水産の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。 (2)水産や海洋に関する課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 (3)課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。										
月・考査等	単元名	指導内容	評価規準			評価方法	補助教材	指導上の改善点など			
			知識・技能【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【感】						
4	オリエンテーション 職業資格の取得①	授業の進め方、準備物、評価方法 危険物取扱者の資格取得について理解を深める	水産や海洋に関する職業資格の取得のため、関連する専門的な知識及び技術などを身に付けている。	水産や海洋に関する課題を発見し、それらの課題について合理的かつ創造的に解決しようとしている。	水産や海洋に関する職業資格に関する基礎的な内容について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	週末課題 朝学習 小テスト グループワーク学習	危険物取扱者受検教科書 (向学院)		○	○	○
5						GW課題					
中間考査	職業資格の取得	必要な知識が習得できたか確認する				考査			○	○	
6	職業資格の取得② 産業現場の見学①	危険物取扱者試験を受検する  職業に関する興味・関心を励起させる ・一般常識 ・ディベートとは ・ブレインストーミング・KJ法	水産や海洋に関する各科目の内容に関係がある産業現場等の見学により、関連する専門的な知識及び技術などを身に付けている。	水産や海洋に関する各科目の内容に関係がある産業現場等の見学により課題を発見し、それらの課題について合理的かつ創造的に解決しようとしている。	水産や海洋に関する各科目の内容に関係がある産業現場等の見学を通し、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	振り返り(自己評価)シート 合否結果  ノート提出 グループワーク学習	自主プリント		○	○	○
期末考査 7		実施しない									
8											
課題テ		実施しない									
9	職業現場の見学②	Locusアカウント 講習会  ・課題学習の方法 ・問いの立て方を知る ・課題を特定する視野を得る ・課題解決の方法を知る ・事例から学ぶ ・地域課題と教科の横断 ・イノベーションを学ぶ ・サプライチェーンを学ぶ	水産や海洋に関する各科目の内容に関係がある産業現場等の見学により、関連する専門的な知識及び技術などを身に付けている。	水産や海洋に関する各科目の内容に関係がある産業現場等の見学により課題を発見し、それらの課題について合理的かつ創造的に解決しようとしている。	水産や海洋に関する各科目の内容に関係がある産業現場等の見学を通し、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	ワーク学習			○	○	
10											
中間考査		実施しない									
11											
期末考査 12		実施しない									
12	職業現場の見学③	職業現場を見学し、地域課題解決の実例から学ぶ				実地実習 ノート提出			○	○	○
1	職業資格の取得③	・学習成果の発表 レーダー級海上特殊無線技士の資格について理解する	水産や海洋に関する職業資格の取得のため、関連する専門的な知識及び技術などを身に付けている。	水産や海洋に関する各科目の内容に関係がある産業現場等の見学により課題を発見し、それらの課題について合理的かつ創造的に解決しようとしている。	水産や海洋に関する職業資格に関する基礎的な内容について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	発表の材料作り 発表 週末課題 朝学習 小テスト グループワーク学習	自主プリント				
2											
学年末考査	職業資格の取得	必要な知識が習得できたか確認する				考査			○	○	
3	職業資格の取得④	レーダー級海上特殊無線技士の受検				振り返り(自己評価)シート 合否結果					

月・考査等	学科名	学年	教科	科目	単位数	教科書	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	海洋科	2	水産	課題研究	2	なし				
科目の目標							水産や海洋に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。			
月・考査等	単元名	項目名	学習到達目標		補助教材	評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
			関心・意欲・態度	思考・判断						
4	職業資格の取得	乙種危険物取扱者の資格取得	・職業資格の取得のため、関連する専門的な知識を理解し、技術を習得する。		危険物取扱者受験教科書(向学院)	生徒観察 復習テスト	○	○	○	○
5		海上特殊無線技士の資格学習								
	職業資格の取得	乙種危険物取扱者の資格取得	・職業資格の取得のため、関連する専門的な知識を理解し、技術を習得する。		危険物取扱者受験教科書(向学院)	生徒観察 復習テスト	○	○	○	○
6	産業現場等における実習	インターンシップへ向けた準備	・自らの進路希望等に応じた企業などの研修先で行う、3～5日間の職業体験への心構えを理解し、職業観や社会性を高める。			生徒観察 発表(口頭)	○	○	○	○
7	産業現場等における実習	インターンシップ	・自らの進路希望等に応じた企業などの研修先で、3～5日間の職業体験を行い、職業観や社会性を高める。			生徒観察 レポート提出	○	○	○	○
8	職業資格の取得	韓国語(ハングル)講座	・研修旅行(韓国)の事前学習として、韓国語(ハングル)の習得や理解を深めることができる。		プリント	生徒観察 復習テスト	○	○	○	○
9	調査、研究	研修旅行の事前学習	・研修旅行(韓国)の事前学習として、韓国の文化やファッション、食文化や科学技術などの分野において各自で調査したことをまとめることができる。		インターネット	生徒観察 レポート提出	○	○	○	○
10		海上特殊無線技士の資格学習								
11	調査、研究	研修旅行の事後学習	・研修旅行(韓国)の事後学習として、韓国の文化やファッション、食文化や科学技術などの分野において各自で調査したことをまとめ、パワーポイントを使って発表することができる。		インターネット	生徒観察 発表	○	○	○	○
12	職業資格の取得	海洋情報技術検定1級の資格学習	・職業資格の取得のため、関連する専門的な知識を理解し、技術を習得する。		プリント	生徒観察 復習テスト	○	○	○	○
1	職業資格の取得	海洋情報技術検定1級の資格学習	・職業資格の取得のため、関連する専門的な知識を理解し、技術を習得する。		プリント	生徒観察 復習テスト	○	○	○	○
2	職業資格の取得	海洋情報技術検定1級の資格学習	・職業資格の取得のため、関連する専門的な知識を理解し、技術を習得する。		プリント	生徒観察 復習テスト	○	○	○	○
3	進路学習	次年度の進路へ向けた準備	・面接やSPI、一般常識試験の対策に取り組む。		プリント	生徒観察 復習テスト	○	○	○	○

	学科名	学年	教科	科目	単位数	教科書	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	海洋科	3	水産	課題研究	2	なし				
科目の目標	水産や海洋に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。									
評価の観点	関心・意欲・態度	生徒自らが課題を設定し、その課題の解決に向けて学習を展開する能力と態度を身につけている。	思考・判断・表現	学問の体系による知識や技術を教え込むだけでなく、水産・海洋的な物の見方、考え方、扱い方を身につけている。	技能	計画、実践、検証、発表という一連の過程により、成果について幅広く発表する機会を通して、表現できる技能を身につけている。	知識・理解	水産や海洋に関する各分野の学習の基礎の上に立った調査・研究・実験を行い、その上で基礎的な知識を身につけている。		
	単元名	項目名	学習到達目標	補助教材	評価方法					
4	調査・研究	テーマの発見と設定	・水産や海洋に関する各分野の学習の基礎の上に立ち、興味・関心、学校や地域の実態等に応じて、課題を発見し設定できる。	資料プリント	生徒観察	○			○	
5		研究・資格学習の計画作成	・水産・海洋について、学習した内容に関連する課題を設定して情報の収集・検索、結果の集計・処理、発表などにコンピュータや情報通信ネットワークの適切な活用を図りながら、計画を立てることができる。	資料プリント	生徒観察	○	○		○	
中間考査										
	調査・研究・作品製作	調査・研究・作品製作	・設定した課題について、計画に基づき調査・研究等ができる。 ・水産や海洋に関する各分野の学習の基礎に立った作品製作ができる。	資料プリント	生徒観察	○	○	○	○	
6	無線通信技術	船用無線設備の操作と関連法規	・実習船かづみの内の無線設備について、乗船し実際の操作を通じ、機器の能力や調整の方法を理解する。また、免許の範囲、法規の制限などについて船内の機器を用いて理解できる。	無線従事者養成課程用標準教科書 法規 一・二・レーダ級海特用 無線従事者養成課程用標準教科書 無線工学 一・二海特用	確認テスト	○	○	○	○	
	中間発表	発表の準備	・中間発表までの成果について、コンピュータを活用するなど適切な方法で発表の準備ができる。	資料プリント 学習プリント	生徒観察	○	○	○	○	
期末考査										
7		中間発表	・計画、実践、検証、発表という一連の過程により、途中の経過について表現できる。		発表	○	○	○	○	
8										
課題テ										
9	調査・研究	調査・研究・作品製作	・設定した課題について、計画に基づき調査・研究等に取り組むことができる。 ・水産や海洋に関する各分野の学習の基礎に立った作品製作ができる。	資料プリント	生徒観察	○	○	○	○	
10		調査・研究・作品製作	・設定した課題について、計画に基づき調査・研究等に取り組み、結論を見いだすことができる。 ・水産や海洋に関する各分野の学習の基礎に立った作品製作ができる。	資料プリント	生徒観察	○	○	○	○	
中間考査										
		資格試験の受験対策	・水産・海洋に関わる資格について目標とする資格を受験し、出題と回答の内容を検討・評価できる。	自作プリント	生徒観察		○	○	○	
11	発表・報告	発表・報告の準備	・成果について、コンピュータを活用するなど適切な方法で発表の準備ができる。	資料プリント	生徒観察	○	○	○	○	
期末考査										
12		発表・報告の準備	・成果について、コンピュータを活用するなど適切な方法で発表の準備ができる。	資料プリント	生徒観察	○	○	○	○	
1										
課題テ										
		発表・報告 評価	・計画、実践、検証、発表という一連の過程により、成果について表現できる。 ・他の発表について、自分の意見を持ち、意見交換をすることができ、公平・公正な評価ができる。		発表 評価	○	○	○	○	